



宇宙カフェ OPEN

宇宙カフェとは宇宙関係研究の専門家と一般市民が、飲み物を片手に気軽に宇宙に関する話題について語り合う場です。

テーマ：コーヒーカップの隣の宇宙

月の石を初めて地球に持ち帰ったのは米国のアポロ計画でした。昨年6月に地球に帰還した日本の「はやぶさ」は、月よりも遠くにある小惑星の石の破片を地球に持ち帰りました。地球外の物を持ってきて直接調べることは現代でも容易ではありません。

一方で、私たちは遥かに遠い宇宙について多くの事を知っています。それは言語としての地球の科学が、宇宙のどこでも通じるからです。できあがった料理（石や星）は違いますが、素材（元素）は宇宙のどこでも同じです。そして、私たちはその料理のレシピも詳しく書かれているメニューを持っているのです。

今回は、このメニューの読み方をみなさんにご紹介します。メニューは科学という共通言語で書かれていますが、「辞書」を用意しますので少しも難しくありません。辞書は、コーヒーカップの横に置いた、ローソク、虹を作る三角プリズム、隕石のかけら、拡大鏡などです。おいしい料理を想像しながら楽しくメニューを眺めてみませんか？

ナビゲーター：石塚 亘

(和歌山大学宇宙教育研究所副所長・教育学部教授)



日 時

平成23年9月21日（水） 18:30～20:00 頃

場 所

和歌山大学まちかどサテライト
(和歌山市本町2丁目1番地 フォルテワジマ6階)

対 象

中学生～一般

参 加 費

100円（お茶代）※当日はおつりのないようにご用意ください。

定 員

先着20名（要申込み、当日参加申込み可）
メールまたはFAXでお申し込みください。

申込・問い合わせ先

和歌山大学まちかどサテライト
TEL：073-488-2888 FAX：073-488-2889
E-mail：machikado@center.wakayama-u.ac.jp
URL：<http://www.wakayama-u.ac.jp/machikado/>

マイカップ持参推奨!



※宇宙カフェは毎月1回、第4週目開催予定です。今後の予定は、まちかどサテライトHPをご覧ください。

主催：和歌山大学まちかどサテライト、宇宙教育研究所